

山梨大学国際流域環境コースにおける大学院教育とキャリアパス Trials of ICRE-UY

西田 継^{1*}

Kei Nishida^{1*}

¹ 山梨大学・国際流域環境研究センター

¹ICRE, University of Yamanashi

山梨大学は、流域の暮らしに密着した水問題を解決するための研究と国際専門家の育成・ネットワーク形成を目的として、2003年に21世紀COE事業、2008年にグローバルCOE事業を開始し、2007年には、拠点形成の一つの形として国際流域環境研究センターを設立した。本センターでは、専門家による研究だけでなく、それら先端研究の成果を応用して、大学院教育等を通じた若手研究者の育成にも力を入れている。先端研究を水工学、水質学、浄化技術、微生物学、計画学、医学など幅広い分野で柔軟に構成し、積極的な分野融合により新たな研究シーズの開拓と大学院教育へのフィードバックを図る、日本人と留学生が交流できるカリキュラム作りなど、試行錯誤を重ねている。本発表では、水問題の専門家として留学生と日本人学生が求める、あるいは彼らに必要なスキルとは何か、日本人学生に国際的な視野を持たせるにはどのような工夫が必要なのか、教育プログラムを運営するための技術的な問題は何かなどについて、議論を通して共に考えたい。